

1 持続可能な磐田市について

(1) 公共施設等総合管理計画と市民サービスについて

① 公共施設の中で、様々な体育施設がある。使用回数等はよく出ているが、市民ニーズを考えると利用率がどうなのかが気になる。全国的に見ても平成8年以降、体育施設は、減少傾向にある。合併後の市町村の施設が、そのまま管理されている施設が多いと考える。

そこで、体育施設の活用状況や、将来のあり方に関する検討の現在の状況を伺う。

② 発育盛りの幼い子どもたちが、季節の天候に関わらず、活発に運動が出来る屋内遊戯施設と高齢者が盛んにスポーツを屋内で出来るような施設を融合させた複合施設があれば、幼い子どもと若い年代のお母さんなど、幅広い年代が集まれる施設になる。あらゆる年代が集いスポーツを通して交流し、生涯スポーツの推進にも寄与すると考える。

そこで、公園等の新規屋内遊戯施設についての考え方を伺う。

③ コミュニティ関連施設全体では、公共施設等総合管理計画に記述されている複合化に関して、ながふじ学府の地域連携室で一定の方向が示されたが、コミュニティ関連施設を、他の様々な施設と複合化していくような方針があるのか、次を伺う。

交流センターの利用拡大と複合化について伺う。

- ④ 災害が多発する中で、被災した場合、自治体の救援物資の受援体制が、重要となることも分かってきている。近年、地域防災計画の下部計画として災害時受援計画を策定している自治体も見受けられる。国は発災後4日から7日の間でプッシュ型にて被災地に救援物資を緊急輸送する。その救援物資を被災時の混乱する中で、遅延することなく受け入れをしなければならぬ。救援物資は濡れてはいけないものが多く、屋根がついていることが不可欠となる。豊田支所のすぐ横には、広域圏への輸送路となる交通網、市内南北の交通網等が整備されており、拠点として考えられる。

そこで、市民サービスを低下させないというえでの、豊田支所の有効活用の検討について伺う。

- ⑤ 消防署内の検討委員会をもち、しばらく経った。

今後の消防施設のあり方も含め、次を伺う。

磐田市消防庁舎建設検討の進捗状況と消防施設のあり方の考えを伺う。

- ⑥ 公共施設の機能・用途は、主に地域的サービスと広域的サービスに分けられ、市民へのサービスにより、公共施設の立地が考えられる。市民ニーズを踏まえた中で、集約化、合理化に結び付けられる。

そこで、公共施設の最適化に関して地域的サービスと広域的サービスの考え方、その仕分けの考え方と今後の取り組みのあり方や課題について伺う。

## (2) 防災について

- ① 市が管理する水位観測の進展状況やしゅん濇がどのように行われているのか、次を伺う。

ア 市が管理する河川の水位観測地点の変更や観測場所の状況について伺う。

イ 市が管理する河川のしゅん濇の状況としゅん濇の施工方法を伺う。

- ② 最近の大雨や豪雨による他市の状況を見ていると、河川からの浸水ばかりでなく堤防で守られた住宅地などで、雨水を側溝や排水路だけでは流しきれず内水氾濫がおきている。

そこで、本市の治水対策の状況と豪雨時における道路側溝のいっ水の見解について伺う。

- ③ 市民が水害に見舞われた時に、建物の上に昇る垂直避難をすると考えるが、その際、被災者の情報の収集のあり方や、市民は、地域で被災している中でどのような行動をすればいいのかを不安に思っていると考える。私たちは地震等での、情報収集訓練はよく行われるが、洪水により、被災した地域の情報収集や地域での行動はどのようにすればいいのか気になる。

そこで、洪水による水害時に垂直避難した避難者における市の情報収集の方法とそれに対する共助の考え方について伺う。

- ④ 先日、発表されたドローン隊だが、市民の安心安全につながり、今後の活動を期待する。その中で、もう少し考え方や基準を含め、市民にお知らせをしたいと考える。

そこで、災害対策ドローン隊の活用方法、職員体制選考基準、参集基準、出動体制を伺う。